

3年研国語科研究授業

- (1) 単元：日本語のひびきにふれる
- (2) 学習課題：俳句のとくちょうを知ろう
- (3) つけたい力：感じたことを言葉にする力

教職3年経験者研修の授業研究（公開授業研）の1コマである。本日は、遠く渡嘉敷島の阿波連小学校の2教諭が授業視察のため参観した前回の6月には道徳推進教師として「道徳の時間」の公開授業に臨んでくれた（RシートNo.126）、今回も授業視察の依頼を受けて、お願いしたところ快く引き受けてくれた国語の授業である。



☆文中の児童生徒の名前は全て仮名である。

1:50 [授業はじめ] 淡々と静かに始まる。小さな教師の声、テンションを下げて、子ども達の声も聞いて



授業者がしっかり意識している。子ども達もゆったりした雰囲気です。授業に入る。静かな子ども達は安心して、ちょっとやんちゃな子ども達もいつしか教師のペースに入っていく。本時の学習内容の前に、デジタル教材で漢字の練習である。自分の前に手をかざしTVと一緒に書き順や、読み方を唱える。その後、すぐに漢字ドリルで練習する



1:58 [今日のお勉強の確認] 学習進行表の確認と記入。(本時は単元導入である。)



写真①

授業者は本時の学習のめあてと、[つけたい力]を確認し、子ども達と今日からの勉強の内容を話す。写真①、授業者の話に今日からの勉強に期待する子ども達の眼である。単元導入や日々の学習の導入は大切にしたい。できる教師は授業の入り口に知恵を絞る。本日も授業者は単元導入ということで、ち密な授業デザインを考えている。→実にシンプルである。

2:05 [本時のテーマに入る] 写真②、授業者が中央のいすに座り、1枚の写真を提示。(以上)

授業者の突然の写真の提示に、食いつく子ども達。教師はしばらく無言である。子ども達が勝手に「語り」だす「テントウ虫だ〜」ブツブツ、ボソボソ。この時点で教師の導入のデザインはほとんど達成されたのではないだろうか。『写真を提示してしばらく無言でいる。(子ども達が勝手にしゃべりだすだろう)』素晴らしい。写真③、授業者：この写真についてグループで話し合ってください。→ グループへ



写真②



写真③



2:07 [グループで気づいたことを話し合う]

下記はビデオで確認できた子ども達の声です。



りく：羽が割れている。羽が切れる。
しせ：今から 飛ぼうとしている
なの：羽を かわかしている
あいり：テントウ虫が 今 着地しようとしている
どのグループでも子ども達は思い思いに語っている。
リーダーがいたり、いなかったり。対話のスタイルはグループによって様々である。それでいい！

2:14 授業者から新たなテーマが下ろされた。「『5音』でタイトルをつけてみて」



子ども達は、指を折りながら、言葉を呪文のように繰り返す。

「そらをとぶ」「とまったよ」等中には「おもてなし」や「とげねずみ」と言って、テキストが完全無視された男のいた。優しいグループの女の子が説明するが聴こうとしない。しかし本人は「おもてなし」と「とげねずみ」で大満足のようだった。実に楽しそうに語っている男のに、

私も思わず頬が緩む。グループの女の子も笑みであるが、決してばかにしたような笑い方ではない。

2:17 [共有する] 互いの感性を学ぶ

写真1枚から何が子ども達にとって「学び」になるだろう。



1枚の写真から様々な言葉が生まれてくる。さて、その言葉はどのように子どもの中に生まれてくるのでしょうか。さまざまな生活経験や社会体験、学習、読書、家庭生活などみんなちがいをもっていて、違うそれぞれの感性が子ども達の中に育っている。その違い「互いの感性の違い」から学ぶのです。違いは一新しいことである。

2:20 [2枚目の写真] 「冬景色」 5音や7音で「言葉」を考える。



授業者は、今度はいきなり写真を各グループに渡すだけ、あとは勝手に上の写真の通り、子ども達だけで指を折りながら「言葉」を考え始めた。しかし、ここは沖縄である。本物の雪山を見たことがある子が何名いるだろう。それでも子ども達は自分の知恵を絞り「言葉を創りだす」。写真④、それぞれのグループで聴き合った後、他のグループにも聴きに行った「どうだった?」。しせさんは、雪山を「富士山」としていたが、しゅうまさんに、「これ富士山ちがうだろう?」と促され「雪山に」という言葉にかえた。

2:25 「雪景色の写真から」を共有する。

授業者：感じたことを5音で表してみて。



しせ：ゆきやまに
わか：冬が来て
めぐ：さむそうな

授業者：7音では…

よしお：あしあとがある
しせ：ゆきつもったね
なみ：木がかれている

授業者：5音と7音では…

ここではじめて足跡に気づく子が数名いた。

ここで、ペアによる対話を仕組む

聴き合うを数回促す。ナイス！友達の「よい」と思ったものを共有する。ナイス！

授業者：お友達の文を紹介して…聴いたことの発表へつなく

かいさんがひろとさんの文を紹介する。→「ゆきつもり 川がこおって すべりそう」

わかさんがこなさんを紹介する。→「ゆきがふり まだまださきだ 暑い日々」

T・S先生お疲れさんでした。この子達と出会って3ヶ月、子ども達が日々成長しています。確実に手ごたえを感じています。授業者の言葉に向けられる眼、仲間の言葉に向けられる眼、お互いの個性を認め合う姿勢。着実に成長しています。

阿波連小の訪問にも対応いただき感謝します。子ども達がグループになった時の対話をちょっと驚いた表情で聞いていました。「学びたい人が訪ねてくる」快く受け入れてあげたいものです。

右の写真、書くときは書く。学習規律もだんだん慣れてきました。焦らず行きましょう。素敵な授業ありがとうございました。

